

謹賀新年

健友

第127号 2021年1月号

発行 社会医療法人社団健友会
中野・杉並健康友の会
〒164-0001 中野区中野5-44-3
TEL 03-3387-3051 FAX 03-3388-1381
編集 「健友」編集委員会
ホームページアドレス www.kenyu-kai.or.jp/

コロナ禍でこそ人のつながりを



一時はすべてがストップした友の会の活動でしたが、少しづつ、そして慎重に再開してきました。11月14日には約60人が参加して中野・杉並健康友の会としての研修会を開催することができました。

⇒詳細は2面へ

今年は地域で命と生活を守る、地
域の皆さんの健康を支える
年でした。

新しい年を迎えて、一日も早く日常を取り戻せる年にしたいと願っています。年末に、共立病院・診療所の有志で行っている「なんでも相談会」(中野駅北口)が9か月ぶりに行われました。医療相談や「仕事がない」「国保料が払えない」など、どれも切実でした。感染第3波の危機にもかかわらず、自分で政府の対策の遅れと無策ぶりは目に余ります。コロナ危機は、医療体制や感染症対策を縮小してきた結果の人災と言われています。



命とくらし 第一の社会を

中野・杉並健康友の会会長

植木 紘一

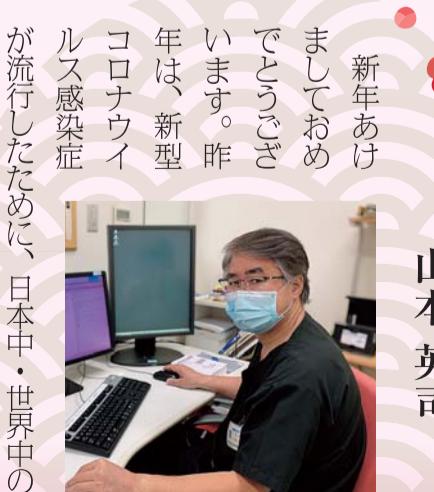
政権の場当たり的な対応のもと生活の困窮や不安は深まり、一方異論の排除やデジタル管理は強化されようとしていました。年でした。

新型コロナ流行に伴い不安を抱えながらの一

明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナ

明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナ

感染症の蔓延を防ぐため、日本中・世界中の人々の生活が一変した一年でした。



社会医療法人社団健友会理事長
伊藤 浩一

中野共立病院院長
山本 英司

地球規模の連帯を

社会医療法人社団健友会理事長
伊藤 浩一

中野共立病院院長
山本 英司

今年は地球環境危機対策、被爆国かつ核の傘という安保体制の中での核兵器禁止条約発効へのコミットや、極東の非核地帯構想の展望、あるいは人類の知的な共有財産としてのワクチンの公正な配分といったさまざまな地球規模の連帯を考える年になると思います。

地域の皆さんの 健康を支える

中野共立病院院長
山本 英司

私たち地域で命と生活を守る、地域に足のついた活動や運動に取り組みます。本年もよろしくお願いいたします。

*アウトリーチとは、助けが必要であるにもかかわらず自ら申し出ない人たちに対しても、公共機関などが積極的に働きかけ、支援を届けることを指す。

コロナ禍を経験して私たちは、命とくらし第一の社会の必要性を学びました。幅広い方々と共同して当たり前の社会をつくりましょう。

困難な中、医療活動に専念している

健友会のみなさんに改めて感謝いたし

ます。また、友の会ではサークルや様々な活動を通じ、閉じこもりがちの方々

との交流、社会参加を

無理のない範囲で進め

ていく決意です。今年

もよろしく

お願いします。



友の会の皆さんにとっても、ストレスの多い状況であり、身体・精神の健康状態を保つことは、大変なことだったと思います。そのような状況であっても、健友会そして中野共立病院は、地域の皆さんの健康状態を保ち、向上させることを、今年も工夫していくきます。一緒に取り組んでいきましょう。

